

2026年11月期

第3四半期決算補足説明資料



2026年10月15日
MITホールディングス株式会社
証券コード 4016

1 第3四半期決算概要

2 業績予想に対する進捗

3 株主還元

4 トピックス

みんなの、未来に、もっとITを。



Appendix 当社グループについて

1 第3四半期決算概要

2 業績予想に対する進捗

3 株主還元

4 トピックス

Appendix 当社グループについて

みんなの、未来に、もっとITを。

MiT

ミットホールディングス

売上高

37億6百万円

前年同期比 1億73百万円減 (△4.5%)

売上総利益

8億50百万円

前年同期比 32百万円減 (△3.7%)

営業利益

1億67百万円

前年同期比 25百万円減
(△13.4%)

経常利益

1億67百万円

前年同期比 21百万円減
(△11.6%)

当期純利益

97百万円

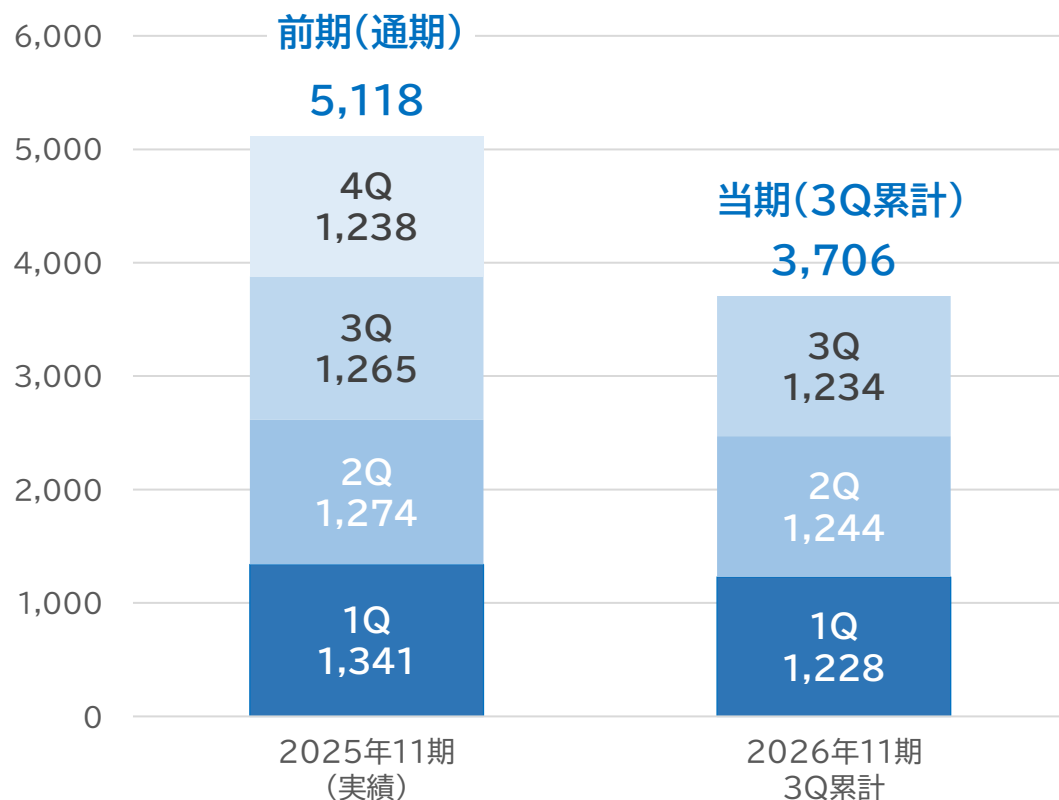
前年同期比 22百万円減
(△18.9%)

	実績値			指標			
	2026年11月期 2Q	2026年11月期 3Q	2026年11月期 3Q 累計	前年同期比(YoY) 前期3Q累計⇔当期3Q累計		前四半期比(QoQ) 当期2Q⇔当期3Q	
	千円	千円	千円	千円	増減率	千円	増減率
売上高	1,243,755	1,233,978	3,706,000	△173,947	△4.5%	△9,777	△0.8%
システムインテグレーション	1,054,608	1,029,040	3,154,383	△131,120	△4.0%	△25,567	△2.4%
DXソリューション	189,147	204,937	551,617	△42,827	△7.2%	+15,790	+8.3%
売上原価	966,789	949,979	2,855,165	△141,552	△4.7%	△16,809	△1.7%
売上総利益	276,966	283,998	850,835	△32,395	△3.7%	+7,032	+2.5%
販売費及び一般管理費	227,542	225,136	683,259	△6,572	△1.0%	△2,405	△1.1%
営業利益	49,424	58,862	167,576	△25,823	△13.4%	+9,437	+19.1%
営業外収益	496	6,097	8,499	+2,493	+41.5%	+5,600	+1126.9%
営業外費用	2,991	2,595	8,511	△1,363	△13.8%	△395	△13.2%
経常利益	46,930	62,363	167,564	△21,966	△11.6%	+15,433	+32.9%
税金等調整前当期純利益	46,930	62,363	167,564	△21,966	△11.6%	+15,433	+32.9%
法人税等合計	21,811	24,243	69,927	769	+1.1%	+2,431	+11.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	25,118	38,120	97,637	△22,736	△18.9%	+13,001	+51.8%

- 前期は運輸・物流分野の大型案件による増収・増益効果があったものの、当期はその反動減に加え、一部プロジェクトの開始時期の延伸やエンジニア不足等による機会損失により、前年同期比(3Q累計)では減収・減益。
- 一方、技術者単価の上昇やストック売上の拡大により、売上総利益率は前年同期を上回る。3Q単独の営業利益は前四半期比(QoQ)で増益となり、DXソリューションも増収を維持。4Q以降の業績向上を見込む。

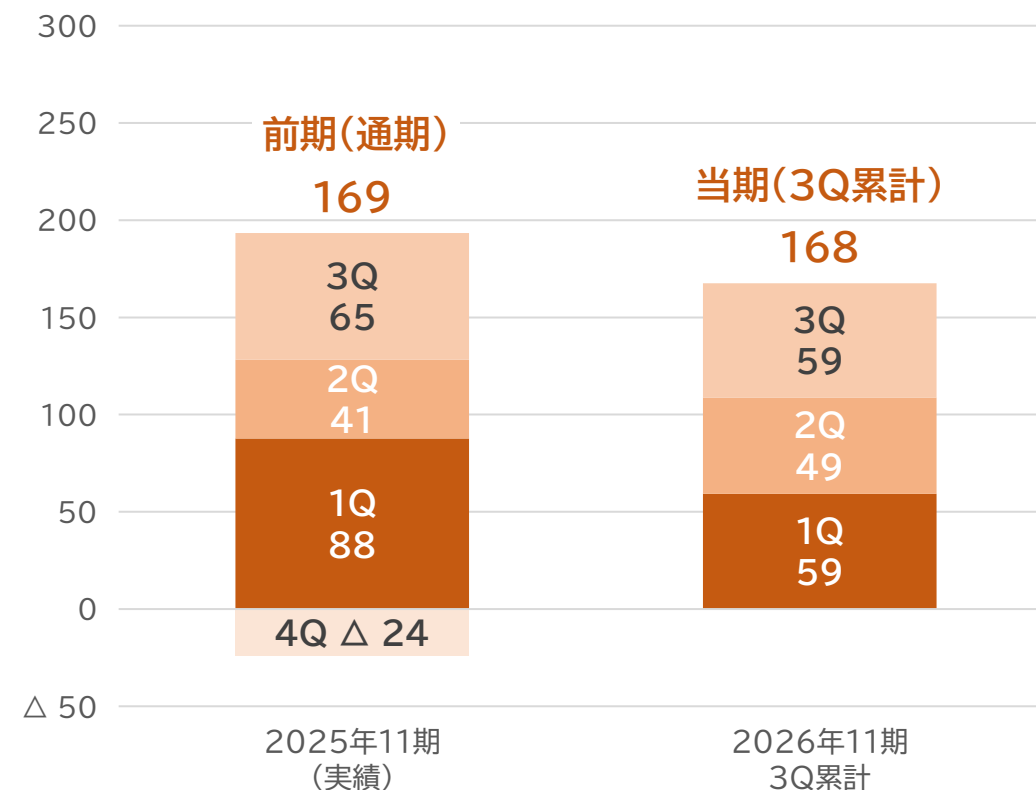
売上高

単位:百万円(表示未満を四捨五入)



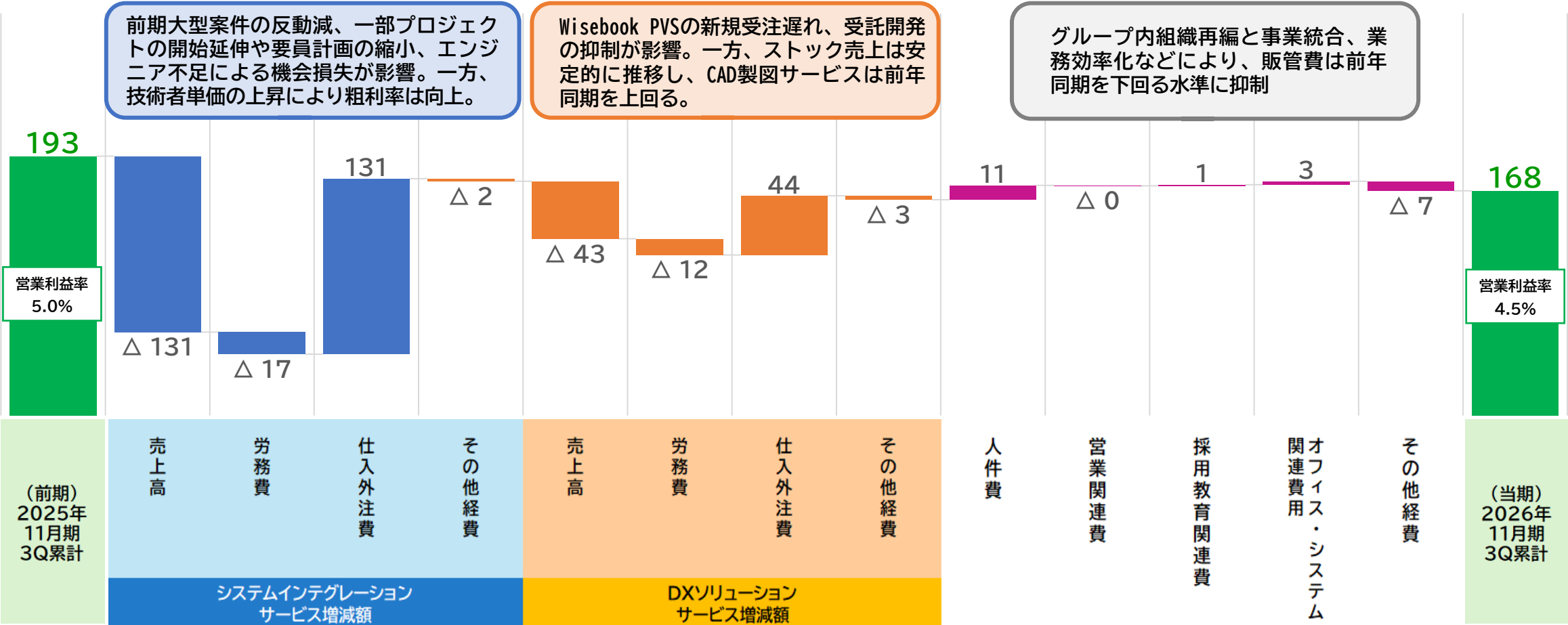
営業利益

単位:百万円(表示未満を四捨五入)



- 第3四半期累計は、売上高の減少に加え、エンジニアの人件費や外部人材等の調達コスト、クラウドシステムの維持コスト等の上昇により、営業利益は前年同期比で減少。一方、技術者単価の上昇やストック売上の拡大により、売上総利益率は前年同期を上回る。
- SIサービスにおける既存顧客との取引深耕に加え、「The Meal」の新規受注増加(4Q以降に寄与)、GIGAスクール支援サービスの新規入札案件獲得(次年度以降に寄与)等により、受注・売上拡大を見込む。

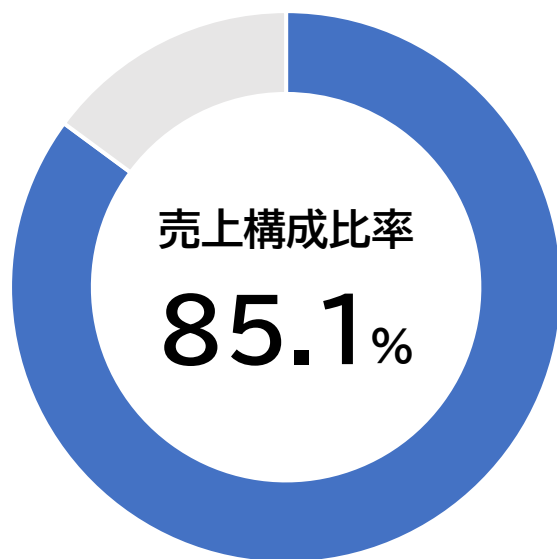
(百万円) 表示単位未満を四捨五入



■ システムインテグレーションサービス

[売上高]31億54百万円

2026年11月期 2Q	2026年11月期 3Q	YoY (3Q累計)	QoQ
1,054百万円	1,029百万円	△ 4.0%	△ 2.4%

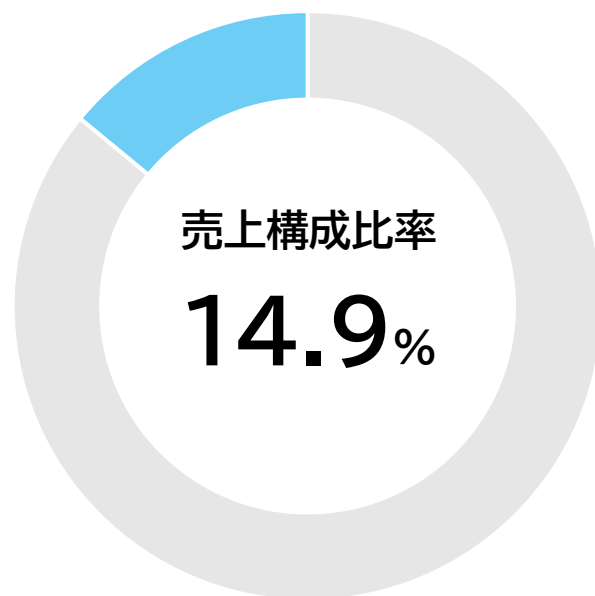


- 社会インフラ系の基幹システム開発及び、ネットワーク基盤構築を柱として、安定した受注基盤を確保
- 既存顧客からのインフラ運用・保守案件が堅調に拡大し、電力会社向けシステム開発支援の対象地域が全国規模に拡大
- 一部プロジェクトの開始時期の延伸、顧客の方針変更に伴う要員計画の縮小、エンジニア不足等による機会損失により減収
- プライム案件拡大、技術者単価向上、AI活用による設計・開発・テスト工程の効率化で利益率改善を推進

■ DXソリューションサービス

[売上高] **5億51百万円**

2026年11月期 2Q	2026年11月期 3Q	YoY (3Q累計)	QoQ
189百万円	204百万円	△ 7.2%	+8.3%



デジタル マーケティング

WISEBOOK®

Wisebook EdTech クラウド

ストック型ビジネスは安定的に推移したものの、Wisebook PVS (プライベートサーバ) 案件の新規受注が想定より遅れ、減収。バージョンアップ案件やEd-Tech案件の獲得を推進。

3Q累計 売上 109百万円

2026年11月期 2Q	2026年11月期 3Q	YoY (3Q累計)	QoQ
41百万円	37百万円	△ 9.8%	△ 9.5%

図面DX ソリューション

DynaCAD

足場仮設計画図等の
CAD 製図サービス

足場図面等のCAD製図サービスは、夏の繁忙期に受注環境が正常化し、前年同期を上回る。一方、DynaCADシリーズは「DynaCAD CUBE Ver.4」をリリースしたものの新規受注が限定的となり、やや減収。

3Q累計 売上 292百万円

2026年11月期 2Q	2026年11月期 3Q	YoY (3Q累計)	QoQ
94百万円	107百万円	△ 1.4%	+14.0%

クラウドシステム ソリューション

The Meal

GIGA
DX

「The Meal」の新規受注が増加し、4Q以降の売上寄与を見込む。GIGAスクール支援サービスでも新規入札案件を獲得。一方、中小規模事業者向け受託開発を抑制したことにより減収。

3Q累計 売上 149百万円

2026年11月期 2Q	2026年11月期 3Q	YoY (3Q累計)	QoQ
52百万円	59百万円	△ 15.2%	+12.2%

1 第3四半期決算概要

2 業績予想に対する進捗

3 株主還元

4 トピックス

Appendix 当社グループについて

みんなの、未来に、もっとITを。

MiT

ミットホールディングス

- 当第3四半期累計期間の業績等を踏まえ、2026年1月14日公表の通期連結業績予想を下方修正いたしました。
- 期末配当予想(1株当たり30円・普通配当)に変更はありません。

(単位:百万円)

	前回発表予想 (26年1月14日)	今回修正予想 (26年10月15日)	増減額	増減率	(参考) 前期連結実績
売上高	5,700	4,956	△743	△13.0%	5,117
システムインテグレーション	4,764	4,190	△573	△12.0%	4,378
DXソリューション	936	766	△169	△18.1%	739
営業利益	285	196	△88	△31.0%	169
経常利益	277	194	△82	△29.7%	162
親会社株主に帰属する 当期純利益	172	110	△61	△35.8%	94

詳細は、同日に開示の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

売上高（システムインテグレーション）

▼ 下方修正の要因

- ・エネルギーサービス領域
案件規模拡大も、計画の要員規模には至らず。
- ・通信サービス領域
主要顧客の方針変更に伴う要員計画の縮小、品質対応の優先による案件拡大機会への影響。
- ・運輸・物流サービス領域
一部大型案件の本格拡大が来期以降に。

▲ 堅調に推移した分野・取り組み

- ・公共サービス領域
インフラ構築及び運用・保守が堅調に推移。
- ・金融サービス領域
保険・証券案件の拡大、クレジットカード基幹系の大型刷新へ新規参入。

売上高（DXソリューション）

▼ 下方修正の要因

- ・バージョンアップ案件やWisebook PVS等の新規案件の受注時期・規模が想定を下回る。
- ・中小規模事業者向け受託開発を抑制し、AI活用の自社プロダクト強化へ資源を集中。

▲ 堅調に推移した分野・取り組み

- ・Wisebook-Cloud/ONEのストック売上が安定推移。
- ・足場図面等のCAD製図サービスは夏の繁忙期に受注拡大。
- ・「The Meal」新規受注、GIGAスクール新規案件の獲得が進展（当期寄与は限定的）。

営業利益

▼ 下方修正の要因

- ・売上高の計画未達による利益額縮小。
- ・エンジニアの人件費や外部人材等の調達コスト、クラウドシステムの維持コストの上昇。

▲ 堅調に推移した分野・取り組み

- ・技術者単価の上昇やストック売上の拡大により、売上総利益率は前年同期を上回る水準。
- ・コスト上昇を吸収する収益構造の改善が進み、利益面への影響は一定程度抑制。

今後について

- ・当期売上高に影響した要因は、要員体制の再構築やプロジェクト計画の見直しにより概ね解消。翌期以降への継続的な影響はない見込み。
- ・システムインテグレーションサービス：プライム企業からの受注拡大、技術者のスキル向上・最適配置による高付加価値業務へのシフトと単価上昇。
- ・DXソリューションサービス：事業ポートフォリオを見直し、AIを取り入れた自社プロダクトへ経営資源を集中。ストック型ビジネスを拡大。

1 第3四半期決算概要

2 業績予想に対する進捗

3 株主還元

4 トピックス

Appendix 当社グループについて

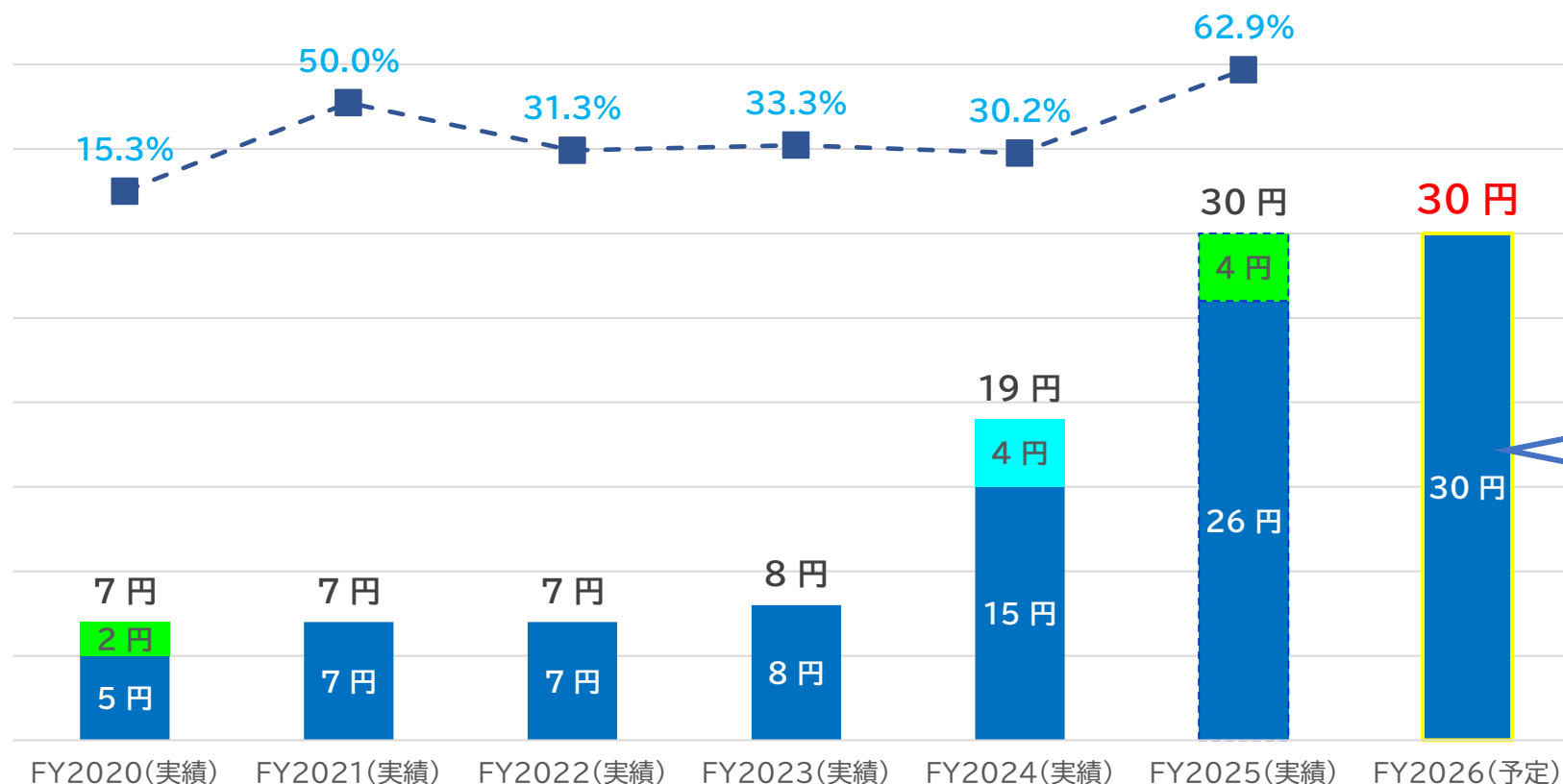
みんなの、未来に、もっとITを。

MiT

ミットホールディングス

- 当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策の一つとして位置づけており、利益の配分にあたっては、業績の推移を見据え、将来の事業の発展と経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な配当を維持することを基本方針としております。

配当金推移



連結配当性向30%以上

2026年11月期の 配当金予想

2026年11月期の連結業績予想及び上記配当方針を踏まえ、期末配当金は
1株当たり30円の普通配当を予定しております。
※前期の普通配当26円より4円増配

■ 普通配当 ■ 増配 ■ 記念配当 -■- 配当性向(実績)

■ 期末配当に加え、株主優待としてQUOカードを進呈

当社では、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を向上させ、より多くの株主の皆様に中長期的に当社株式を保有していただくことを目的として、株主優待制度を導入しています。

(1) 優待の内容および対象

毎年11月30日現在の株主名簿に記録された、当社株式300株(3单元)以上を保有されている株主様を対象といたします。

基準日	保有株式数	優待内容
11月末日	300株以上	QUO カード5,000円分

(2) 進呈時期

毎年2月開催予定の定時株主総会終了後に発送する「定時株主総会決議ご通知」に同封することを予定しております。

1 第3四半期決算概要

2 業績予想に対する進捗

3 株主還元

4 トピックス

みんなの、未来に、もっとITを。

MiT

ミットホールディングス

Appendix 当社グループについて

連結子会社エーピーエスにおいて、従業員・派遣社員・外国人雇用者などへ多言語対応の情報をスマートフォンへのプッシュ通知で確実に届けるクラウド型デジタル掲示板サービス「スマホ de 掲示板」をリリースいたしました。



- ▶ 紙の掲示物から脱却し、全員のスマホへ即時・確実に情報伝達。
- ▶ 派遣・外国人・短期雇用など、多様な雇用形態の情報格差を解消。
- ▶ SaaS型の月次ストック収益を積み上げ、事業ポートフォリオを改善。

工場の情報共有を、スマホひとつで。全員に届くデジタル掲示板。

安全管理や事故事例対策、自然災害発生時の案内共有などに活用でき、現場の意識向上と的確な情報伝達を支援します。現場DXの需要拡大を事業機会と捉え、SES事業の安定収益基盤を活かしながら、ストック型収益の割合を増やします。



即時プッシュ通知

お知らせや指示命令を、登録済みのスマートフォンへ即時に配信。多言語表記にも対応。



到達の可視化

受信マークの点灯で手元に届いたことを確認。一方通行配信で返信の負担もなし。



サイネージ対応

大型ディスプレイやタブレットにも同じ情報を表示し、現場や共有スペースで周知。

1 第3四半期決算概要

2 業績予想に対する進捗

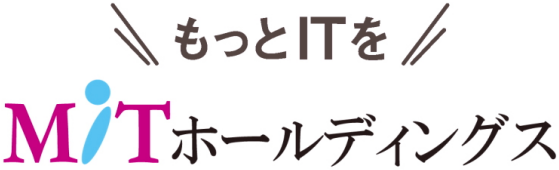
3 株主還元

4 トピックス

みんなの、未来に、もっとITを。



Appendix 当社グループについて



会 社 名	MITホールディングス株式会社
設 立 年 月	2009年12月
創 立 年 月	1990年1月（システムイオ設立）
本 店 所 在 地	千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番地1
決 算 期	11月
従 業 員 数	単体:15名、連結:401名（2026年4月現在）
上 場 市 場	東証スタンダード
資 本 金	2億9,395万円（2026年8月現在）
発 行 済 株 式 数	2,134,400株（2026年8月現在）
役 員 構 成	代表取締役社長 増田 典久
	常 務 取 締 役 三方 英治（財務担当取締役）
	取 締 役 野山 真二（株式会社システムイオ代表取締役）
	社 外 取 締 役 菅 千恵
	常 勤 監 査 役 沼倉 巧和
	社 外 監 査 役 大和久 雅弘
	社 外 監 査 役 ステファン・ボーリュー

創業

1990年1月

(株)システムイオ設立



上場

2020年11月

東証スタンダード市場



グループ事業拠点

6拠点

千葉・東京・大阪・
福岡・名古屋・秋田



グループ従業員数

401名

(2026年4月現在)



従業員平均年齢

35.8歳

(2026年4月現在)



男女比率

7:3

(2026年4月現在)



外国籍従業員比率

4.5%

(2026年4月現在)



管理職の平均年齢

48.6歳

(2026年4月現在)



管理職に占める
女性労働者の割合

15.2%

(2026年4月現在)



会社名	代表者	従業員数 (2026年4月)	拠点	主要サービス
MITホールディングス株式会社 ・ 2009年12月設立	代表取締役社長 増田 典久	15名	千葉本社(千葉市)	事業会社4社を保有し、運営を行う 持株会社
株式会社システムイオ ・ 1990年1月設立	代表取締役社長 野山 真二	315名	東京本社(港区) 大阪本社(大阪市) 福岡営業所 名古屋営業所	システムインテグレーション  公共サービス 金融 通信 エネルギー 医療 運輸物流
株式会社エーピーエス ・ 2005年1月設立 ・ 2022年1月グループ加入	代表取締役社長 後藤 幹太	29名	東京本社(千代田区)	システムインテグレーション DXソリューション 
株式会社ビーガル ・ 2007年9月設立	代表取締役社長 河野 達	28名	千葉本社(千葉市) 東京支社、大阪支社 秋田営業所、九州営業所	DXソリューション 
株式会社ネットウインクス ・ 1993年11月設立 ・ 2023年2月グループ加入	代表取締役社長 青柳 文彦	14名	千葉本社(千葉市)	DXソリューション 

次の時代を守るモノづくり 次の世代を助けるサービス

<本資料に関する注意事項>

本資料は、当社の業績及び今後の見通し、経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載されている将来予想に関する事項は、現時点における情報に基づき当社が判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。

<お問合せ先>

MITホールディングス株式会社
経営企画室

TEL 043-239-7252

E-Mail ir@mit-hd.co.jp